© ONOMURA Satoshi 2024

RISE English Course 英単語カレンダーを使った

英単語の学び方・教え方

ーはじめにー

「ライス」や「プライス」などの語を、何度も書いたりして覚えたという人は少ないと思います。ではなぜ英単語は、繰り返し練習しても覚えられないのでしょう？

「英語が苦手！」という人の多くは、rice や price などのスペリングがよく似ていることに気づかず、丸暗記だけに頼ったりしています。

			ice	：氷
r	＋ ice	＝	rice	：米、ごはん
pr	＋ ice	＝	price	：価格
sp	＋ ice	＝	spice	：スパイス
sl	＋ ice	＝	slice	：うす切り

さらに rice の c を d にかえて ride など、知っている単語を生かせば、3,000語 や 5,000語 の英単語はカンタンに身につけられます。

もう、丸暗記は必要ありません！

r	＋ ide	＝	ride	：（馬などに）乗る
s	＋ ide	＝	side	：…側(がわ)、横
sl	＋ ide	＝	slide	：すべる

＊ rice / ride などの i は文字の名前そのままに「アィ」、e は発音されません。

ポイント1

-「音の足し算・引き算」になれる-

基本をおさえたら、あとは音を足したり引いたり、入れ替えたりするだけで、たくさんの単語をカンタンに読み書きできるようになります。

t	＋ ea	＝	tea ：お茶
t	＋ eam	＝	team：チーム
st	＋ eam	＝	steam：蒸気
str	＋ eam	＝	stream：小川、流れ

例えば　ea は「イー」と発音するのが基本です。書くときにも「音の足し算」を意識して「トゥ・イー・ム team」と言いながら練習してみましょう。カレンダーを見ながら、指で手のひらに書くだけでも十分です。

scr ＋ eam	＝	scream	：悲鳴をあげる
scream － s	＝	cream	：クリーム
scream － cr	＝	seam	：ぬい目
seam － m	＝	sea	：海

あらかた読めるようになったら、専用アプリでのタイピング練習もおすすめ！

発音を聞いたり、文字わくを参考にしたりしながらタイピングすれば、暗記するまでノートに何度も書いて練習…なんて、もう必要ありません

＊ ここでの ea は、日本語の「イー」よりも少し口を横に開くようにして発音してみましょう。

ポイント2

-知っている単語を生かす！-

私たちは毎日、たくさんの英単語にふれています。ここまでに取り上げた語の中にも、見聞きしたことがある語がいくつもありませんでしたか？

react だけを見ると「見覚えがない」という人もいるかも知れませんが、こうして並べてみると「なるほど！」となることもよくあることです。

		act：行い、演じる
act ＋ ion	＝	action：行動
re ＋ act ＋ ion	＝	reaction：反応
reaction － ion	＝	react：反応する

小学高学年でも1,000語以上、中高校生ともなれば軽く2,000語以上ともいわれる「なじみがある語」を生かさない手はありません。

カタカナ語だって 「サプリ」や「アプリ」をもとにすれば、 次のような語はぐんと覚えやすくなります。

sup ＋ ply	＝	supply：供給する
sup ＋ ple ＋ ment	＝	supplement：サプリ
ap ＋ ply	＝	apply：適用する
ap＋ plic ＋ ant	＝	applicant：志願者
ap＋ plic ＋ ation	＝	application：アプリ

＊ ポイント 1 の seamも seamless：縫い目のない、野球好きの人なら 2-seamとしたらどうでしょう？

© ONOMURA Satoshi 2024

ポイント3

-音から受けるイメージを生かす-

日本語と英語でも、似ている点が思っていた以上にあることがわかってきています。例えば slide などの sl は、日本語で「スルッとすべる」というときの「スルッ」に音が似ています。

slide ： すべる、すべり台
slip ：（ツルっと）すべる
sled ：（小型の）そり

stream の str は「すっと伸びる」というときの「すっと」とも似ています。恐がったりして「大きく高い声を出す」ことを意味する scream は、黒板を爪でひっかくまねをしながら言ってみましょう。丸暗記よりもずっと記憶に残りやすく、同じように大きな声を出すにしても shout などとのニュアンスの違いまで理解しやすくなりますよ。

str ＋ eam ＝ stream：小川、流れ
scr ＋ eam ＝ scream：悲鳴をあげる

スポーツなどの前にする「ストレッチ」や「スクラッチカード」などと結びつけるのも方法です。

str ＋ etch ＝ stretch：伸ばす
str ＋ eess ＝ stress：緊張、強調
scr ＋ atch ＝ scratch：ひっかく
scr ＋ ape ＝ scrape：こすり落とす

＊ sl は「スルッ」の他にも「すらり、そろり」、str は「すっ、ピーン」、scr は「キーキー」「カリカリ」にも通じるものが感じられます。

ポイント4

-語の成り立ちを知り、つなげる！-

「part と party は親せき」と言ったら「？」と思う人も少なくないと思います。party は part ＋ y で「パーティ、政党」。もともとの意味は「一部の人の集まり」です。

part ： 部分
part ＋ y ＝ party ： パーティ、政党
part ＋ ial ＝ partial ： 一部の

「語の成り立ち」を知れば、より多くの語と語をつなぎ合わせて、今よりずっとカンタンにたくさんの語を身につけられます。

de ＋ part ＝ depart：去る
de ＋ part ＋ ure ＝ departure ：出発
de ＋ part ＋ ment ＝ department：部門

export は「外に運ぶ」から「輸出」、important は「中に運ぶほど」から「重要な」を意味するようになりました。難しそうに見える語もパートに分けると、読み書きがずっと簡単になります。

port：港
ex ＋ port ＝ export：輸出（する）
im ＋ port ＝ import：輸入（する）
im ＋ port ＋ ant ＝ important：重要な

＊ important の port などを語の根っこ、「語根」といいます。im- など単語の頭に付く部分は「接頭辞」、-ant などは「接尾辞」といいます。

おすすめの練習方法

1 10秒でも、毎日少しずつ

カレンダーは目につく場所に貼って、できれば毎日、少しの時間でも繰り返し読みましょう。

2 上から下に、下から上に

上から下に、下から上に、似ているところ、異なるところを意識しながら読んでみましょう。入門と初級・中級で関連する語も探してみましょう。

3 考えて読む

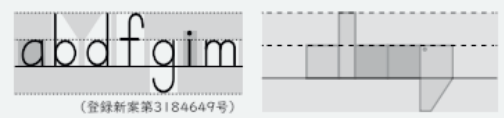
例えば nut が読めないときは、前後の cut や net を、さらに日本語の意味なども参考にしながら読んでみましょう。

4 専用アプリを活用する

アプリを使ったタイピング練習はゼッタイのおすすめ！ 発音も耳だけに頼らず、意味なども参考にして聞き取るようにしましょう。

5 文字わくを生かす

タイピング練習をするときには、文字わくを参考にしましょう。目からの記憶を促すことで、sleep を sreep とするようなまちがいも防ぎます。



音声やタイピング・アプリはこちらから。より詳しい手引き、文を理解する力を伸ばす練習法を紹介する動画など、英語学習に役立つ情報を公開しています。

発行元：NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所

〒305 - 0031
茨城県つくば市吾妻1-10-1 オフィスC
TEL：029 - 856 - 8143
https://rise.gr.jp